



下呂市農業委員会だより

平成29年9月1日発行

vol.11

下呂市農業委員会

下呂市萩原町羽根2605-1 TEL.0576-53-2010

<http://www.city.gero.lg.jp/> [行政情報](#) [市政の情報](#)

婚活イベント



日時

11月12日(日)

9:30~16:00

会場

フィッシングセンター水辺の館(馬瀬西村)

農家に恋2017

「農家に恋2017」開催決定!

- ◆参加人数 男性 10人 女性 10人
- ◆参加料 男性 3,000円 女性 2,000円
- ◆参加資格 男性: 下呂市内の農業後継者の方 ※専業・兼業問わず(40歳代まで)
女性: 農業に興味があり、真剣に結婚をお考えの方(40歳代まで)
- ◆募集期間 9月1日~10月31日
- ◆内容 ピザづくり体験、自己紹介タイム、バーベキュー、カップリングタイム
- ◆申込方法 男性: 農業委員会事務局までお問い合わせください。
女性: ①~③のいずれかでお申し込みください。
 - ①応募用紙を農業委員会事務局へ提出。
 - ②コンサポ・ぎふ婚活イベント情報システムにて申込。
 - ③下呂市ホームページの応募フォームにて申込。
- ◆申込 先下呂市農業委員会事務局(下呂市農務課内) 53-2010(内線157)

主催/下呂市農業委員会(農業後継者花嫁・花婿対策委員会) 共催/下呂市営農推進協議会

農業委員会主催婚活イベント「農家に恋2017」を今年も開催します。人気テレビ番組、「ナイナイのお見合い大作戦」が下呂市で開催され、放映が予定されているところですが、この農業委員会主催婚活イベントは「農家の後継者男性限定」です。専業、兼業は問いません。参加者を農家の男性に絞っている婚活イベントは県内でも下呂市のみではないでしょうか。また、過去2回のカップル成立率は平均で50%を超え、主催者側も驚く成果をあげています。

女性の参加資格は「農業に興味があり、真剣に結婚をお考えの方」。少々高めのハードル(？)とも思えますが、毎年募集人数を超える応募をいただき、農業・田舎暮らしへの関心が高まっていると感じます。

また、イベント内容のバーベキューでは参加男性が作った野菜が並び、地元野菜の美味しさをアピールできるほか、農家ならではの美味しい食べ方などでも会話も弾みます。食材はお土産として女性参加者に進呈。その他、下呂市人気グルメのお土産もつき、大変ご好評いただいています。

参加男性にはイベント事前に、コミュニケーションや服装、髪型等プロからアドバイスが受けられるセミナーを開催していますので、初めての方でも安心してご参加していただけます。

今回で三回目となる当婚活イベント。スタッフ一同で、素敵な一日となりますよう務めさせていただきますので、多数のご応募をお待ちしております。

真剣に考えてみませんか？

全地域、萩原町羽根、萩原町野上が法人化組織を立ち上げています。
現在取り組みを進めています。

馬瀬地域の2階建て集落営農

- ・1階は企画・調整機能。(一社)馬瀬アグリが地域の農地を集積して一元管理。
- ・過去の作付け面積の実績をもとに配分し、2階の(農)馬瀬栄農組合を中心に作業委託に出す。
- ・集落の垣根を越えた管理作業の体制をつくる
- ・地域で集積した農地を農地中間管理機構に貸し出すことで、地域集積協力金が農地の受け皿となる(一社)馬瀬アグリに入り、農地を守るための当面の運営資金として活用する。

2階

経営
田んぼの中の
作業

(農) 馬瀬栄農組合

個別農家

- ・作業受託、農業生産、販売

1階

企画調整
環境管理
作業

(一社) 馬瀬アグリ

代表理事 中川 眞澄

正会員(総会機能) 農事改良組合長
47人 多面的・中山間委員
賛助会員 466人 全農家+非農家賛同者
・農地の利用調整、情報共有



中川さん

やって良かった集落営農

どこでもそうですが、馬瀬の過疎化、高齢化は深刻で、誰もが(田んぼを)いつまで出来るか不安やったんです。近所の人に頼もうにも近所も全員高齢者の状態。日本一美しい村にも選ばれたこの景観を守りたい、というのが発端ですね。それと、戸別所得補償制度(当時)の一律10a控除のロスを出る限り小さくしようという目的で集落営農組合が農地の集約を始めていました。一本化により浮いた交付金は積立をして、ヘリで行うカラムシー斉防除に充てています。その交付金も今年度で終わるのでまた考えていかなければなりません。その集落営農組合が現在の(一社)馬瀬ア

グリの母体となっています。馬瀬アグリの運営で最も重要なのが情報共有です。これには各地区の農事改良組合長が重要な役割を担っています。毎秋に来年作れるか、の戸別調査を行い、出来ないということであればまずその地区の農事改良組合長が検討、調整し、解決できない場合は馬瀬アグリから(農)馬瀬栄農組合、地区外の担い手に委託する、といった具合です。平成31年からは基盤整備も予定しています。未整備では受け手のない農地も基盤整備してあれば受け手につなげられますから。長い目で見て有効な手段と思っています。

羽根地域のぐるみ型集落営農

- ・2階部分はなく、南ひだ羽根ファームが農地の利用調整、作業まですべて行う。
- ・小規模農家組織化支援事業を活用し、大型コンバイン、トラクターを導入。
- ・農地利用集積モデル地域支援事業では育苗ハウス、冷蔵庫を導入
- ・馬瀬と同様、地域で集めた農地を一旦農地中間管理機構に貸し出すことで地域集積協力金が交付され、将来的に全ての農地の受け皿となる南ひだ羽根ファームの活動資金に充てられる。

企画 調整 経営

農事組合法人 南ひだ羽根ファーム

代表理事 都竹盛夫

組合員による
畦畔管理
(全面積)

法人による
全面耕作

羽根地区
農地

非組合員所有農地

組合員所有農地

やって良かった集落営農

地域の自然、文化、祭りごと等先人が守り育んできた財産を未来に繋ぐためには地域が元気でないといけません。地域の基本は、農地・農業と地域の絆です。農地が荒れ、耕作が放棄されれば地域が衰退する。魅力がなくなってしまう。羽根でアンケートを実施した結果、将来に不安を抱えている農家、農業をすぐにでも委託したい農家がありました。そこで地域農業の保険会社のような存在になれば「羽根は一家」をモットーに、区民のご理解を得て集落営農法人を設立しました。設立までの経験から感じたことは、熱意のあるプロジェクトチーム(設立準備委員会)を結成したことが大きかった。設立準備委員会は各班から2名選出、それも若い人を出し

てもらった。そこからは、この日までに法人化する、という具体的な目標をもって進めました。やりたいと思ったら少しでも早い方がいい。どうするどうする、と言っているだけでは決まりません。また、組合員になるかならないかは自由とし、入りやすい組織作りを目指しています。やれなくなっても羽根ファームがある!という安心感は農家にとって心強いと思います。

現在は、生産コストの削減・農作業の低減を目標に水田の大区画化を計画しています。各関係機関のご協力のもと、近く基盤整備する予定です。



都竹さん

『集落営農』あなたの地域で

集落の農地を守る集落営農。市内では下呂門和佐、萩原町四美、馬瀬
また、金山東地区、下呂乗政地区

集落営農の目的

代々守ってきた農地。将来、個々の農家だけで守っていただけるのでしょうか。
下呂市のような中山間地域にとって、「農地を守る」ということは「地域を守る」ということ。



だから、
地域の皆さんが
全員で参加できる
仕組みづくりが必要。
それが、

集落営農

集落営農のメリット

①機械や施設の共同利用によるコスト削減

個々の農家で使用していた農業機械や施設が共同化されることでコストの削減が見込めます。

②農地の一元的な利用による耕作放棄地の減少

農地の貸し借りや作業の委託を安心して行えるようになるため、耕作放棄地の減少が期待できます。

③就農者の受け皿機能

優良な農地が守られることで、増加傾向の新規就農者に選ばれる集落となれます。

集落営農の進め方

①ワークショップの開催

集落の皆さん自らによる現状把握と地域ビジョン(方向性)の作成

②役割分担と具体的な目標

誰が(地域でやること、担い手がやること、市でやること、農協でやること)、
いつまでにどれだけ(どこまで)やるかを明確にする。

③施策の活用(農地集積を含む)

国・県・市町村・農協・中間管理機構等、あらゆる施策のフル活用



★集落営農の進め方は地域によってさまざま。

地域の実情(むらの営み)を良く理解し、良い部分はなるべく変えない工夫が必要。

★目的やビジョンは変えずに、やり方を変える。情報収集を常に欠かさず、したたかに施策を活用する。

誰かがやってくれると思っていては永遠にはじまりません。

やらない理由を探すより、やれる方法を考えましょう!まずは座談会から!!



期間中、緑色の腕章をつけた調査員が現地確認を行っています。また車両には「農地パトロール実施中」の黄色い標識を掲示してします。

9月から10月にかけて、農業委員会では耕作放棄地や無断転用を解消するため農地パトロールを実施しています。

耕作を放棄した農地は病害虫の発生や交通事故の原因にもなり、近隣の農地や周辺住民に大変な迷惑がかかってしまいます。

農地をお持ちの方は、よりよい耕作・生活環境を保つために農地を管理しましょう。

農業者年金で未来の自分へ安心を積み立てませんか？少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型年金です。



- ① 年間60日以上以上の農業従事
 - ② 国民年金第1号被保険者
 - ③ 60歳未満
- 以上を満たせばどなたでも加入できます。
農地権利等の条件はありません！

楽農楽食

旬のトマトで♪トマトツナ素麺

●材料（2人分）

そうめん	200グラム
トマト	1個
ツナ缶（汁ごと）	1缶
アボカド（あれば）	1／2個
オリーブオイル	大さじ1
塩	小さじ1／2
中華あじ	小さじ1／2
黒こしょう	お好み

- ① ボウルにさいの目に切ったトマト、アボカド、汁ごとのツナ、調味料をすべて合わせる。
- ② そうめんを茹で、水にさらし、よく水を切る。
- ③ そうめんとボウルの材料を和えて出来上がり。



★具を冷やして麺と別に持っていけば運動会のお弁当にもおすすめ。麺は紙コップに小分けし、ほぐし水を持っていくといいですよ

<編集後記>

今回は地域・農地を守る、というテーマで「集落営農」について取りあげました。

農業委員会では現在、農地利用の最適化にむけ、

- ・担い手への農地集積
- ・遊休農地の発生防止と解消
- ・新規参入の促進

に取り組んでいます。

その一環として、新規就農者の住居と農地の確保対策事業が展開できないか模索中です。

また、担い手支援として「婚活イベント」（表紙）を今年度も開催し、希望・魅力ある地域農業を目指します。皆様のご協力をお願いします。（二村昭司）

●編集委員

- ・二村 昭司
- ・今井 慎太郎
- ・高木 康則
- ・林 忠和
- ・大森 公治



農家の経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。
農業の時事問題解説に力を入れ、事例が豊富です！

農業者の視点でお届けします

週刊《金曜日発行》月 600円 年 7,200円
(年間購読割引あり) お申込みは農業委員会まで